デジタルカメラ

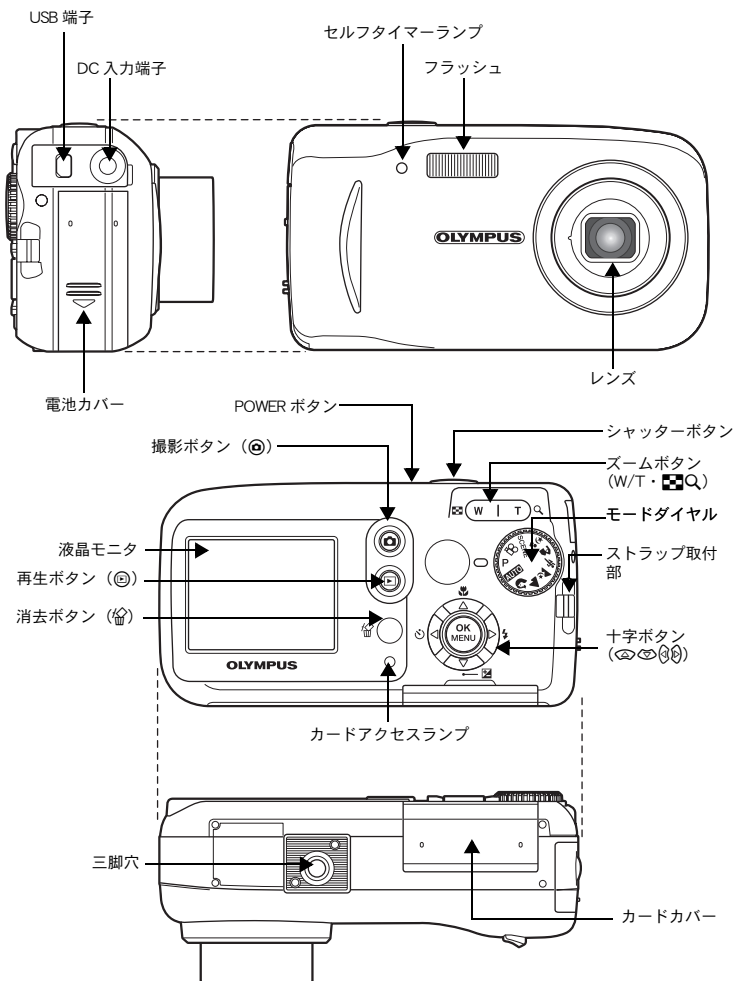
FE-120
X-700

かんたんガイド

基本編

もくじ

- オリンパスデジタルカメラのお買い上げ、ありがとうございます。製品をご使用になる前に、カメラを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。また、お読みになったあとは、必ず保管してください。
- 海外旅行などの大切な撮影の前には試し撮りをしてカメラが正常に機能することをお確かめください。
- 取扱説明書で使用している液晶画面やカメラのイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。

各部の名前

USB 端子
DC 入力端子
セルフタイマーランプ
フラッシュ
OLYMPUS
電池カバー
レンズ
POWER ボタン
撮影ボタン（）
シャッターボタン
ズームボタン
（W/T・）
モードダイヤル
W
T
SCENE
P
AUTO
ストラップ取付部
液晶モニタ
再生ボタン（）
消去ボタン（）
OK
MENU
十字ボタン
（）
OLYMPUS
カードアクセスランプ
三脚穴
カードカバー

箱の中身を確認しましょう

その他に含まれているもの：取扱説明書 応用編、基本編（本書）、保証書、登録カード

1 準備をしましょう

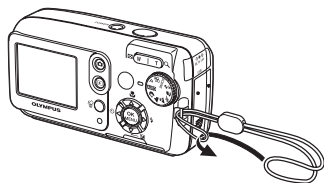
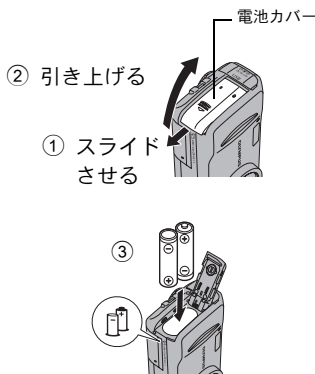
a. ストラップを取り付けます

b. 電池を入れます

電池カバー

② 引き上げる

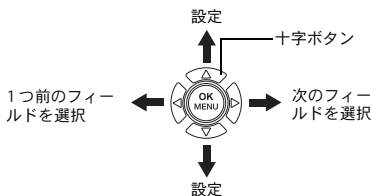
① スライドさせる

③

c. 日付・時刻を設定します

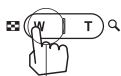
① モードダイヤルを AUTO に合わせ、カメラの電源を入れます。
OK/MENU ボタンを押して、［日時設定］を選択します。

モードダイヤル

POWER

② 項目を設定するときは、△ または ▽ を押します。
別のフィールドを選択するときは、◁ または ▷ を押します。

2 撮りましょう

a. ズームを調整します

広角　または　望遠

b. ピントを合わせます

① 液晶モニタを見ながら、AFターゲットマークを被写体に合わせます。

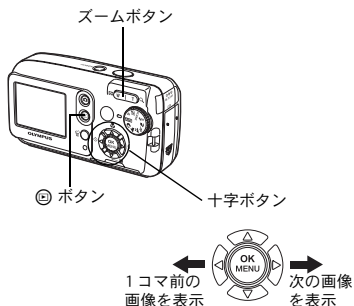
② シャッターボタンを軽く押して（半押し）、ピントを固定します。ピントが固定されると、緑ランプが点灯します。

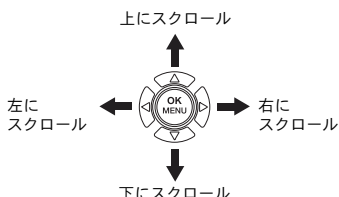
c. 撮影します

シャッターボタンを完全に押して撮影します。

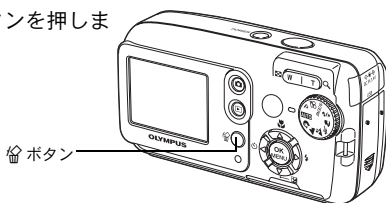
3 画像を再生／消去しましょう

a. ⊡ を押します

最後に撮影した画像が表示されます。

b. 画像を表示します

画像を拡大または縮小するときは、(W | T)を押します。
画像をスクロールするときは、△/▽ または ◁/▷ を押します。

📷 ボタンを押すと、撮影モードに戻ります。

c. 画像を消去するには

① 消去したい画像を表示し、🗑 ボタンを押します。

② △/▽ を押して［消去］を選択し、OK ボタンを押します。
画像が削除されます。

4 画像をパソコンに取り込みましょう

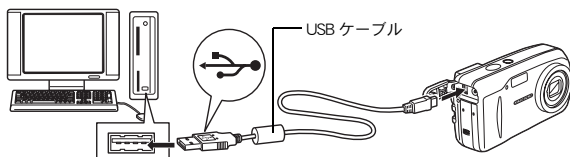
a. ソフトウェアをインストールします

① CD-ROMドライブにOLYMPUS Master（付属）のCD-ROMを入れます。

② **Windowsの場合**：
「OLYMPUS Master」ボタンをクリックします。
Macintoshの場合：
「インストーラ」アイコンをダブルクリックします。

③ 画面のメッセージにしたがって操作を行います。

b. カメラをパソコンに接続します

① 付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続します。
自動的に液晶モニタの電源が入ります。

② ⏶/⏷を押して［PC］を選択し、㊟ボタンを押します。

パソコンは、カメラを「リムーバブルディスク」として認識します。

c. 画像をパソコンに取り込みます

① カメラが接続されている状態で、OLYMPUS Master を開きます。
「取り込み」画面が表示されます。

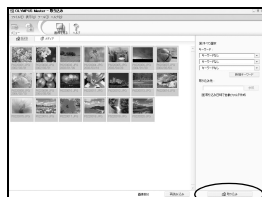
② 取り込みたい画像を選択し、「取り込み」ボタンを押します。

「取り込み」画面

「取り込み」ボタン

「取り込み」画面が自動的に表示されない場合：

a. 「画像を取り込む」アイコンをクリックします。

b. 「カメラから」アイコンをクリックし、「取り込み」ボタンをクリックします。

お知らせ

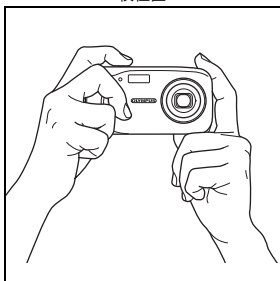
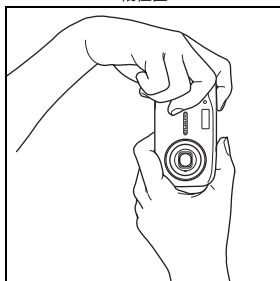
OLYMPUS Master ソフトウェアの使用についての詳細は、インストール先のドライブの OLYMPUS Master フォルダにある取扱説明書（電子マニュアル）をご覧ください。また、OLYMPUS Master ソフトウェアの「ヘルプ」もご覧ください。

カメラの基本操作

撮影のヒント

シャッターボタンを押すときにカメラが動くと、画像の輪郭がはっきりしないことがあります。

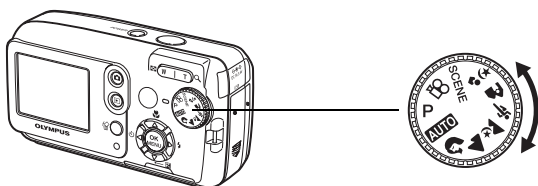
このような失敗を防ぐために、カメラは脇を締めて両手でしっかり持ちましょう。カメラを縦位置で持つときは、フラッシュがレンズより上になるように持ちます。レンズとフラッシュに指やストラップがかからないよう、ご注意ください。

横位置

縦位置

パワーセーブ機能

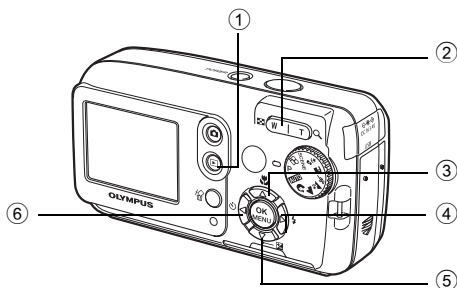
カメラは約 3 分間使用されないと、電池の消耗を防ぐために自動的にスリープモード（待機状態）になり、動作を停止します。液晶モニタは自動的に消灯します。液晶モニタを点灯するときは、シャッターボタン、 、または を押してください。

カメラがスリープモードに入ってから 4 時間操作されない場合、自動的にレンズが収納されて電源が切れます。操作を再開するには、もう一度電源を入れ直してください。

モードダイヤル

このカメラには、カメラの撮影モードを選択するモードダイヤルがあります。撮影モードはいつでも切り換えることができます。

P	通常の撮影に使用します。
AUTO	フルオートで撮影します。
	人物撮影に適しています。
	風景撮影に適しています。
	夜景撮影に適しています。
	動きのある被写体の撮影に適しています。
	風景を背景にした人物撮影に適しています。
	夜景を背景にした人物撮影に適しています。
SCENE	撮影状況に合わせた 10 種類の撮影シーンから選択することができます。
	ムービーを撮影します。

撮影モードで使うボタン

撮影モードでよく使う機能を簡単に設定することができます。

① ▶（再生）ボタン

再生モードに切り換えます。

② ズームボタン

W：広角に切り換えます。
T：望遠に切り換えます。

③ △🌷（マクロ）ボタン

マクロ撮影またはスーパーマクロ撮影に切り換えます。

④ ▷⚡（フラッシュモード）ボタン

フラッシュモードを選択します。

⑤ ▽±（露出補正）ボタン

露出設定を手動で微調整するときに使用します。

⑥ ◁👆（セルフタイマー）ボタン

セルフタイマー撮影のオン／オフを切り換えます。

SCENE モード

1　モードダイヤルをSCENEに合わせて(OK MENU)を押し、[シーン選択]を選択します。

2　(△)または(▽)を押して撮影シーンを選択し、(OK MENU)を押します。

SCENE の種類

- セルフポートレート
- 打ち上げ花火
- ショーウィンドウ
- パーティショット
- 夕日
- 寝顔
- ビーチ
- 料理
- スノー
- キャンドル

マクロモード

(マクロ) 被写体に20cmまで近づいて撮影できます(光学ズームをもっとも広角にして撮影した場合)。

(スーパーマクロ) 被写体に 2cm まで近づいて撮影できます。[(スーパーマクロ)]モードでは、通常の撮影距離にも対応しますが、ズーム位置は自動的に固定されて変更はできません。

1　(△)(マクロ)を押します。
- マクロの設定画面が表示されます。

2　[(マクロ)]または[(スーパーマクロ)]を選択し、(OK MENU)を押します。

セルフタイマー撮影

1　◁ を押します。
- セルフタイマー撮影の設定画面が表示されます。

2　［オン］を選択し、OK MENU を押します。

3　シャッターボタンを全押しして、撮影します。
- シャッターボタンを押した後、セルフタイマーランプが約 10 秒間点灯してから、点滅が始まります。約 2 秒間点滅した後、撮影されます。

フラッシュ撮影

1　▷ を押します。
- フラッシュモードの設定画面が表示されます。

2　△/▽ を押してフラッシュモードを選択し、OK MENU を押します。

3　シャッターボタンを半押しします。
- フラッシュが発光するように設定されている場合は、 マークが点灯します。

4　シャッターボタンを全押しして、撮影します。
フラッシュの到達距離：
W（最大）：約 0.2 ～ 3.7m
T（最大）：約 0.6 ～ 2.1m

マーク	フラッシュモード	詳細
表示なし	オート発光	暗いときや逆光のとき、フラッシュが自動的に発光します。
	赤目軽減	本発光の前に数回の予備発光を行い、目が赤く写ってしまう現象を起こりにくくします。
	強制発光	フラッシュを必ず発光させます。
	発光禁止	暗いところでも発光させたくないときに使用します。

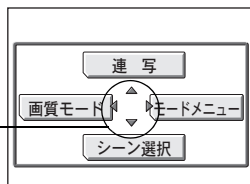
メニューと表示

トップメニュー

トップメニュー（**P** の場合）

十字ボタン（▲▼◀▶）を表しています。

1　OK/MENU を押します。
- トップメニューが表示されます。

2　十字ボタンと OK/MENU を使って、操作ガイドにしたがって項目を選択します。

画質モード
撮影する画像の画質を用途に合わせて設定します。

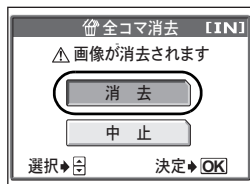
連写
静止画を連続撮影します。ピント、露出、ホワイトバランスは、最初の 1 コマで固定されます。

シーン選択
撮影の目的や状況にあわせて、10 種類の撮影シーンから選択することができます。

モードメニュー
日時設定や言語選択、フォーマット、全コマ消去などの設定を行うことができます。

全コマ消去

1　再生モードで、OK/MENU を押し、［モードメニュー］▶［メモリ（カード）］▶［全コマ消去］を選択します。

2　［消去］を選択し、OK/MENU を押します。
- すべての画像が消去されます。

表示する言語を切り換える

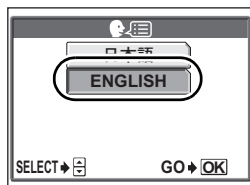
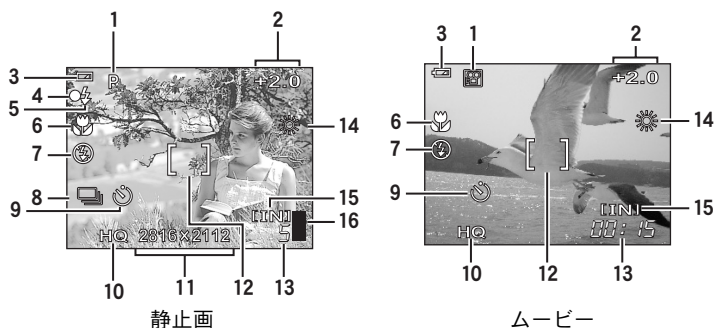
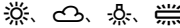
液晶モニタのメニュー表示やエラーメッセージを日本語でなく、他の言語にすることができます。日本語に戻すこともできます。

1　(OK/MENU) を押し、[モードメニュー] ▶ [設定] ▶ [(言語)] を選択します。

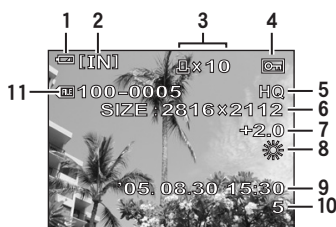
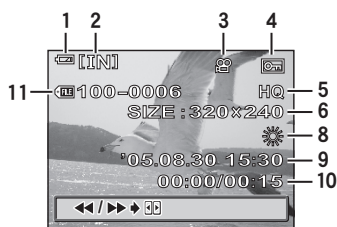
2　表示したい言語を選択し、(OK/MENU) を押します。

液晶モニタの表示

撮影モード

静止画　　ムービー

	項目	表示例
1	撮影モード	P、AUTO、(ムービー)、(ポートレート)、(スポーツ)、(風景+人物)、(風景)、(夜景)、(夜景+人物)
2	露出補正	-2.0 ～ +2.0
3	電池残量	(満電圧)、(残量少)
4	緑ランプ	○ = オートフォーカスロック
5	フラッシュ発光予告 フラッシュ充電	ϟ (点灯) ϟ (点滅)

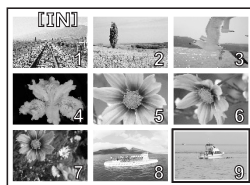
	項目	表示例
6	マクロモード スーパーマクロモード	
7	フラッシュモード	、、
8	連写	
9	セルフタイマー	
10	画質	SHQ、HQ、SQ1、SQ2、SQ
11	画像サイズ	2816 × 2112、1600 × 1200、640 × 480
12	AF ターゲットマーク	[ ]
13	撮影可能枚数 撮影可能時間	5 00:15
14	ホワイトバランス	、、、
15	使用メモリ	[IN]（内蔵メモリ）、[xD]（カード）
16	メモリゲージ	、、、（撮影できません。）

再生モード

静止画　　ムービー

	項目	表示例
1	電池残量	（満電圧）、（残量少）
2	使用メモリ	[IN]（内蔵メモリ）、[xD]（カード）
3	プリント予約／枚数 ムービー	×10
4	プロテクト	
5	画質	SHQ、HQ、SQ1、SQ2、SQ
6	画像サイズ	2816 × 2112、1600 × 1200、 640 × 480、320 × 240
7	露出補正	-2.0 ～ +2.0
8	ホワイトバランス	WB AUTO、、、、
9	日時	'05.08.30　15:30
10	コマ数 経過時間／記録時間	5 00:00/00:15
11	ファイル番号	FILE 100 － 0005

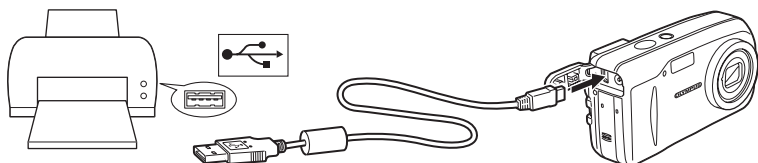
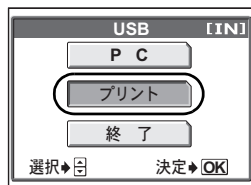
インデックス再生

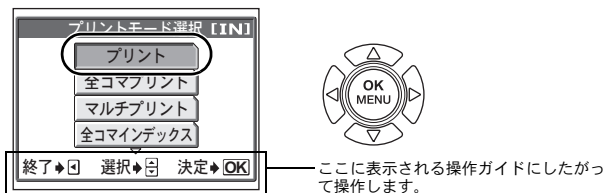
同時に複数の画像が表示されます。
ズームボタンの W 側（▦）を押すと、インデックス再生に切り換わります。

- 十字ボタンで画像を選択します。
- 1 コマ再生に戻るには、ズームボタンを T 側 (🔍) に押します。

カメラを接続しましょう

ダイレクトプリント（PictBridge）

付属の USB ケーブルを使用すると、カメラを PictBridge 対応プリンタ（Olympus P-11 など）に接続してプリントすることができます。

1　付属の USB ケーブルの一方の端子をカメラの USB コネクタに差し込み、もう一方の端子をプリンタの USB コネクタに差し込みます。

2　カメラの液晶モニタの［プリント］を選択し、(OK MENU) を押します。
［しばらくお待ちください］と表示されたあと、カメラとプリンタが接続されます。

3　十字ボタンで画像を選択してプリントします。

ここに表示される操作ガイドにしたがって操作します。

プリント	：	選択した画像をプリントします。
全コマプリント	：	内蔵メモリまたはカード内の画像をすべてプリントします。
マルチプリント	：	1枚の用紙に同じ画像を複数レイアウトして、プリントします。
全コマインデックス	：	内蔵メモリまたはカードの中の全画像をインデックス形式でプリントします。
予約プリント	：	プリント予約の内容にしたがって、内蔵メモリまたはカードの中のデータをプリントします。あらかじめプリント予約された画像が無いときは、選択できません。

OLYMPUS Master について

OLYMPUS Master ソフトウェア：カメラから画像を取り込む、デジタル写真やムービーを再生する、整理する、編集・加工する、電子メールで送る、プリントするなど、カメラの楽しみがどんどん広がります。また、このソフトウェア CD には、Adobe Acrobat（PDF）形式のユーザーマニュアルが収録されています。

動作環境について

OS	Windows 98SE/Me/2000 Professional/XP または Mac OS X（10.2 以降）
CPU	Pentium Ⅲ 500MHz 以上 /Power PC G3 500MHz 以上
RAM	128MB 以上（256MB 以上を推奨）
ハードディスク	300MB 以上
接続	USB ポート
液晶モニタ	Windows　：1,024 ×768 ドット以上、65,536 色以上 Macintosh ：1,024 ×768 ドット以上、32,000 色以上

最新のサポート情報については、Olympus の Web サイト（http://www.olympus.co.jp）をご覧ください。

ユーザー登録

OLYMPUS Master のインストール時にユーザー登録をしていただくと、ソフトウェアおよびカメラのファームウェアのアップデート通知などの各種サポートサービスを受けることができます。

仕様

カメラ

形式	:	デジタルカメラ（記録・再生型）
記録方式		
静止画	:	デジタル記録、JPEG（DCF 準拠）
対応規格	:	Exif 2.2、DPOF、PRINT Image Matching Ⅲ、PictBridge
ムービー	:	QuickTime Motion JPEG に準拠
記録媒体	:	内蔵メモリ xD- ピクチャーカード（16MB ～ 1GB）
画像サイズ	:	2,816 × 2,112 ピクセル（SHQ） 2,816 × 2,112 ピクセル（HQ） 1,600 × 1,200 ピクセル（SQ1） 640 × 480 ピクセル（SQ2）
記録コマ数 （32MB xD- ピクチャーカード使用時）	:	約 7 枚（SHQ） 約 21 枚（HQ） 約 64 枚（SQ1） 約 331 枚（SQ2）
カメラ部有効画素数	:	約 600 万画素
撮像素子	:	1/2.5 型（インチ）CCD 固体撮像素子
レンズ	:	オリンパスレンズ 6.3 ～ 18.9mm、F2.8 ～ 4.9 （35mm フィルム換算 38 ～ 114mm 相当）
測光方式	:	撮像素子によるデジタル ESP 測光方式
シャッター	:	4 ～ 1/2000 秒
撮影範囲	:	0.5m ～ ∞（W）、0.9m ～ ∞（T）（通常） 0.2m ～ ∞（W）、0.6m ～ ∞（T）（マクロモード）
液晶モニタ	:	1.8 型（インチ）TFT カラー液晶、8.5 万画素
オートフォーカス	:	コントラスト検出方式
コネクタ	:	DC 入力端子、USB 端子
自動カレンダー機能	:	2005 ～ 2099 年の範囲で自動修正

仕様（続き）

使用環境

温度	:	0°C 〜 40°C（動作時）／ -20°C 〜 60°C（保存時）
湿度	:	30 〜 90％（動作時）／ 10 〜 90％（保存時）
電源	:	単3オキシライド電池またはアルカリ電池またはニッケル水素電池 2 本／リチウム電池パック（CR-V3）／専用 AC アダプタ
大きさ	:	幅 106mm × 高さ 56mm × 厚さ 36mm（突起部を除く）
質量	:	140g（電池／カード別）

外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

xD- ピクチャーカード

メモリの種類	:	NAND 型フラッシュ EEP-ROM
使用環境		
温度	:	0°C 〜 55°C（動作時）／ -20°C 〜 65°C（保存時）
湿度	:	95％以下
駆動電圧	:	3V（3.3V）
大きさ	:	20 × 25 × 1.7mm

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この内容をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **危険**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。
⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

製品の取り扱いについて

⚠ 警告

● **可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しない**
引火・爆発の原因となります。

● **フラッシュを人（特に乳幼児）に向けて至近距離で発光させない**

● **カメラで日光や強い光を見ない**
視力障害をきたすおそれがあります。

● **幼児、子供の手の届く場所に放置しない**
以下のような事故が発生するおそれがあります。
- 誤ってストラップを首に巻きつけ、窒息を起こす。
- 電池などの小さな付属品を飲み込む。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
- 目の前でフラッシュが発光し、視力障害を起こす。
- カメラの動作部でけがをする。

● **ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使用したり、保管しない**
火災・感電の原因となります。

● **フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない**

● **連続発光後、発光部分に手を触れない**
やけどのおそれがあります。

● **分解や改造をしない**
感電・けがをするおそれがあります。

● **内部に水や異物を入れない**
火災・感電の原因となります。
万一水に落としたり、内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り電池を抜き、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。

● **通電中の充電器、充電中の電池に長時間触れない**
充電中の充電器や電池は、温度が高くなります。また別売のACアダプタを長時間ご使用の場合にも、本体の温度が高くなります。長時間皮膚が触れていると、低温やけどのおそれがあります。

● **専用の当社製充電式電池と充電器以外は使用しない**
発熱、変形などにより、火災・感電の原因となります。またカメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故がおきる可能性があります。専用品以外の使用により生じた傷害は補償しかねますので、ご了承ください。

⚠ 注意

● **異臭、異常音、煙が出たりするなどの異常を感じたときは使用を中止する**
火災・やけどの原因となることがあります。
やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご連絡ください。
（電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け、屋外で行ってください。）

● **濡れた手でカメラを操作しない**
故障・感電の原因となることがあります。また、ACアダプタの抜き差しは、濡れた手では絶対しないでください。

● **カメラをストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意する**
けがや事故の原因となることがあります。

● **高温になるところに放置しない**
部品の劣化・火災の原因となることがあります。

● **専用のACアダプタ以外は使用しない**
カメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故が起きる可能性があります。専用以外のACアダプタの使用により生じた傷害は補償しかねますので、あらかじめご了承ください。

● **ACアダプタのコードを傷つけない**
ACアダプタのコードを引っ張ったり、継ぎ足したりは絶対にしないでください。必ず電源プラグを持って、抜き差しを行ってください。
以下の場合はただちに使用を中止し、販売店、当社修理センターまたはサービスステーションにご相談ください。
- 電源プラグのコードが熱い、焦げ臭い、煙が出ている。
- ACアダプタのコードに傷、断線、または電源プラグに接触不良がある。

電池についてのご注意

液漏れ、発熱、発火、破裂、誤飲などによるやけどやけがを避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 危険

- **火の中に投下したり、加熱しない**
  発火・破裂・火災の原因となります。
- **（+）（−）端子を金属類で接続しない**
- **電池と金属製のネックレスやヘアピンを一緒に持ち運んだり、保管しない**
  ショート、発熱し、やけど・けがの原因となります。
- **直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置しない**
  液漏れ、発熱、破裂などにより、火災・やけど・けがの原因となります。
- **直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしない**
  端子部安全弁の破壊や、内容物の飛散が生じ危険です。
  火災・破裂・発火・液漏れ・発熱・破損の原因となります。
- **電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しない**
  火災・破裂・発火・液漏れ・発熱・破損の原因となります。
- **電池の液が目に入った場合は失明のおそれがあるので、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。**

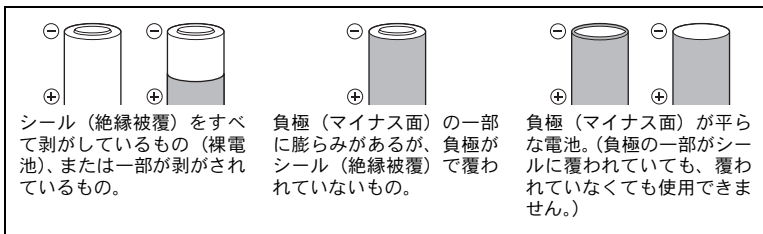
⚠ 警告

- **水や海水などにつけたり、端子部を濡らさない**
- **濡れた手で触ったり持ったりしない**
  感電・故障の原因となります。
- **以下の内容を守らない場合、電池の液漏れ、発熱、発火、破裂により、火災やけがのおそれがあります。**
  - このカメラで指定されていない電池を使わないでください。
  - 古い電池と新しい電池、充電した電池と放電した電池、また、容量、種類、銘柄の異なる電池を一緒に混ぜて使用しないでください。
  - 充電できないアルカリ電池やリチウム電池、リチウム電池パック（CR-V3）を充電しないでください。
  - ＋－を逆にして装着・使用しないでください。また、機器にうまく入らない場合は無理に接続しないでください。
  - 外装シール（絶縁被覆）を一部またはすべて剥がしている電池や、破れている電池をご使用になりますと、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因になりますので、絶対にご使用にならないでください。
  - 市販されている電池の中にも、外装シール（絶縁被覆）の一部またはすべてが剥がれている電池があります。このような電池は、絶対にご使用にならないでください。

● **このような形状の電池はご使用になれません。**

シール（絶縁被覆）をすべて剥がしているもの（裸電池)、または一部が剥がされているもの。

負極（マイナス面）の一部に膨らみがあるが、負極がシール（絶縁被覆）で覆われていないもの。

負極（マイナス面）が平らな電池。(負極の一部がシールに覆われていても、覆われていなくても使用できません。)

● **充電式電池が所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止する**
火災・破裂・発火・発熱の原因となります。
● **外装にキズや破損のある電池は使用しない**
破裂・発熱の原因となります。
● **電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしない**
破裂・液漏れの原因となります。
● **カメラの電池室を変形させたり、異物を入れたりしない**
● **液漏れ、変色、変形、その他異常が発生した場合は、使用を中止する**
火災・感電の原因となります。
販売店または当社サービスステーションにご相談ください。
● **電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがあるので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。**

⚠ 注意

● **電池を使ってカメラを長時間連続使用した後は、すぐに電池を取り出さない**
やけどの原因となることがあります。
● **長期間使用しない場合は、カメラから電池を外しておく**
液漏れ・発熱により、火災・けがの原因となることがあります。
● **マンガン電池は使用しない**
電池寿命が短いばかりでなく、電池の発熱などにより本体に損害をもたらすおそれがあります。

充電器についてのご注意

⚠ 危険

- **充電器を濡らしたり、濡れた状態または濡れた手で触ったり持ったりしない**
  故障・感電の原因となります。
- **充電器を布などで覆った状態で使用しない**
  熱がこもってケースが変形したり、火災・発火・発熱の原因となります。
- **充電器を分解・改造しない**
  感電・けがの原因となります
- **充電器は指定の電源電圧で使用する**
  指定以外の電源電圧を使用すると、火災・破裂・発煙・発熱・感電・やけどの原因となります。

⚠ 警告

- **充電器のコードは傷つけたり、引っ張ったり、継ぎ足したりしない**
  火災・感電の原因となることがあります。
  コンセントからの抜き差しは、必ず電源プラグを持って行ってください。
  以下の場合はすぐに使用を中止し、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。
  - 電源プラグやコードが熱い、焦げ臭い、煙が出た場合
  - 充電器のコードに傷、断線、または電源プラグに接触不良があった場合

⚠ 注意

- **お手入れの際は、電源コードを抜いてから行う**
  電源コードを抜かないで行うと、感電・けがの原因となることがあります。

その他のご注意

- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番等、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影された画像の質は、通常のフィルム式カメラの写真の質とは異なります。

●電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
飛行機内では、離発着時のご使用をお避けください。
本製品の接続の際、当製品指定のケーブルを使用しない場合、VCCI基準の限界値を超えることが考えられます。必ず、付属のケーブルをご使用ください。

●商標について

Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。
MacintoshおよびAppleは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
xD-ピクチャーカード™は商標です。
その他本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

●カメラファイルシステム規格について

カメラファイルシステム規格とは、電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された規格「Design rule for Camera File system/DCF」です。

オリンパス イメージング株式会社

〒163-0914　東京都新宿区西新宿2の3の1 新宿モノリス

● **ホームページによる情報提供について**

製品仕様、パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&A等の各種情報を弊社ホームページで提供しております。
オリンパスホームページ**http://www.olympus.co.jp/**から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● **製品に関するお問い合わせ先（カスタマーサポートセンター）**

フリーダイヤル **0120-084215**

携帯電話・PHSからは0426-42-7499

FAX　0426-42-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

※ カスタマーサポートセンターの営業日・営業時間、最新情報についてはオリンパスホームページにて情報提供しております。
オリンパスホームページ**http://www.olympus.co.jp/**から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● **修理に関するお問い合わせ・修理品ご送付先（修理センター）、国内サービスステーション（修理窓口）につきましては、本製品に同梱の「オリンパス代理店リスト」、またはオリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から「お客様サポート」のページをご参照ください。**

※ 記載内容は変更されることがあります。最新情報はオリンパスホームページ**http://www.olympus.co.jp/**をご確認ください。

Printed in Japan
1AG6P1P2733--　VH188901